

■日本訪問看護財団研修

■平成 25 年度訪問看護 e ラーニング

開講日●6月3日(月)

申込期間●6月3日(月)～2014年1月6日(月)

受講可能期間●ユーザID・パスワード配信日から5か月間

受講方法●インターネットを利用した通信教育

講義内容●「新たな訪問看護研修ステップ1」に準じた訪問看護に関する基礎的内容(訪問看護論, 訪問看護対象論, 訪問看護展開論, 在宅ケアシステム論, 訪問看護技術論, 訪問看護管理論)

※詳細はホームページ参照

受講料●個人申込1万5000円, 都道府県看護協会申込1万3000円

申込方法●個人: ホームページより, 都道府県看護協会申し込み: 各都道府県看護協会の定めによる

問い合わせ●日本訪問看護財団「訪問看護 e ラーニング」ヘルプデスク

TEL 03-5860-5322

E-mail support@nl-hd.com

URL <http://www.jvnf.or.jp/>

■訪問看護管理セミナー——経営・運営管理

日時●6月8日(土)・9日(日), 計2日間

会場●東京都看護協会(東京都新宿区)

プログラム●6月8日「訪問看護ステーションの経営とは」「経営安定に導くためのマーケティング」「訪問看護ステーションの黒字化を達成するための方策」梅本哲(医療産業研究所)／6月9日「訪問看護ステーションの運営管理」「地域包括ケアシステム構築に向けた訪問看護の役割」篠原かおる(訪問看護ステーション青い空), 佐藤美穂子(日本訪問看護財団)

参加費●会員1万2000円, 非会員3万円
※1日受講は会員7000円, 非会員1万7000円

■基礎講座——伝えます, 訪問看護の魅力

日時●6月22日(土)・23日(日), 計2日間

会場●愛知県歯科医師会館(名古屋市中区)

プログラム●6月22日「訪問看護制度」「訪問看護過程の理解」「訪問看護過程展開」(演習)上野まり(日本訪問看護財団)／6月23日「訪問看護の実際」「訪問看護技術」「地域における訪問看護師の役割と協働」平

原優美(あすか山訪問看護ステーション)

参加費●会員1万2000円, 非会員3万円

※1日受講は会員7000円, 非会員1万7000円

■質の高い在宅ケア実践のための ELNEC-J

日時●6月7日(土)・7日(日), 6月10日(土)・11日(日)

会場●7月6・7日JNAホール(東京都渋谷区)

10月12・13日奈良県文化会館奈良県文化会館(奈良市)

プログラム●「エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護・倫理的問題・文化への配慮」「症状マネジメント」「コミュニケーション」「高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア」「喪失・悲嘆・死別」「臨死期のケア」

講師●桑田美代子(青梅慶友病院), 清水佐智子(鹿児島大学), 竹之内沙弥香(京都大学大学院=奈良会場), 千葉恵子(亀田総合病院=東京会場), 金井恵美(奈良県立医科大学附属病院=奈良会場), 杉下薫(済生会奈良病院=奈良会場), 平原優美, 平野和恵(日本訪問看護財団)

参加費●2日間一律1万円

■急変対応セミナー——症状変化に対するマネジメント力を高める

日時●7月27日(土)

会場●TKP 横浜ビジネスセンター(横浜市神奈川区)

プログラム●「在宅療養者におこりやすい急変時の症状とアセスメント及び緊急時対応」「看取りにおける症状変化(起こるべくして起こりうる症状)」「医師, ケアマネジャー, 介護職員と訪問看護師の連携の実例」

講師●平原佐斗司(梶原診療所), 小暮和歌子(ふれあい訪問看護ステーション), 佐藤美穂子

参加費●会員7000円, 非会員17000円

■喀痰吸引・経管栄養セミナー

(東京都の指導者養成事業を修了したもののみ参加可)

日時●7月28日(日)

会場●東京都看護協会(東京都新宿区)

プログラム●「介護職員等の医療的ケアに関する制度(障害者総合支援法等含む)」「不特定の者・特定の者に対する喀痰吸引等研修制度とカリキュラムの概要」「喀痰吸引等の実施に関する体制」「医師・看護職員・介護職員との役割分担」「安全管理(医療的ケアの必要な利用者に対する介護職員との協働, ヒヤ

リ・ハット報告の意義など)」「喀痰吸引(口腔・鼻腔・気管カニューレ内部)に関する知識・技術の指導のポイント」「経管栄養(胃ろう・腸ろう・経鼻経管栄養)に関する知識・技術の指導のポイント」「講義・演習」「実地研修における評価のポイント」
講師●佐藤美穂子, 高橋洋子(おもて参道訪問看護ステーション所長・訪問看護認定看護師)

■精神障害者の在宅看護セミナー

日時●(第1回)8/31(土), 9/1(日), 27(金), 28(土), 29(日), 計5日間

(第2回)2014/2/8(土), 9(日), 21(金), 22(土), 23(日), 計5日間

会場●東京都内

プログラム●

8月31日「精神保健の現状と動向」川中淑恵(厚生労働省)／「訪問看護におけるメンタルヘルスケア」野末聖香(慶応義塾大学)

9月1日「精神障害者の心理社会療法」西尾雅明(東北福祉大学)／「精神障害者への集団療法と精神リハビリテーション」福山敦子(ACT-K ねこのて訪問看護ステーション)

9月27日「精神障害者の家族及び介護者等への支援」田上美千佳(前東京都医学総合研究所)／「精神訪問看護の基礎」萱間真美(聖路加看護大学)

9月28日「精神障害者の病態」「精神障害者の薬物療法と最新治療法」野田文隆(大正大学)／「精神障害者の訪問看護の動向・最新知識と制度活用」仲野栄(日本精神科看護技術協会専務理事)

9月29日「精神訪問看護の実例①」寺田悦子(多摩在宅支援センター)／「精神訪問看護の実例②地域の様々な機関・職種と連携する訪問看護」金井竹子(ケアサポートカナイ訪問看護ステーション)

対象●精神科訪問看護に従事する看護職員, 作業療法士等

参加費●会員3万円, 非会員6万円

〈以下共通=e ラーニングを除く〉

問い合わせ●日本訪問看護財団

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル5F

TEL 03-5778-7005(研修担当)

FAX 03-5778-7009

URL <http://www.jvnf.or.jp/>

ナイチンゲール KOMI ケア学会 第4回学術集会

日時●6月23日(日)
会場●福岡大学病院 福大メディカルホール(福岡市城南区)
テーマ●変化する時代に向けた看護——看護の原点でつなぐケアと記録
プログラム●基調講演「新・KOMIの認知症スケールとスタンダードケアプランの開発」金井一薫(東京有明医療大学)／特別講演Ⅰ「生命の源 糖質のダイナミックな代謝——腸内細菌による資化を受ける発酵・吸収の過程を看護に活かす」奥恒行(長崎県立大学大学院)／特別講演Ⅱ「現代の病院環境を空気の質を通して考える」足立友秀(東栄部品㈱)／一般演題Ⅰ・Ⅱ／活動報告「複合サービスへの取り組み——看護の力を活かす」上野幸子(佐賀県看護協会訪問看護ステーション)
参加費●
〈～6/7〉会員 8000 円, 非会員 1 万円, 大学院生を除く学生 3000 円
〈当日〉会員 1 万円, 非会員 1 万 2000 円, 学生 3000 円(大学院生を除く)
(別途, 弁当代 1000 円)
定員●300 名
申込方法●ホームページより
問い合わせ●事務局(担当・宮澤)
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13-4F
学会支援機構
TEL 03-5981-6011
FAX 03-5981-6012
E-mail komihonb@asas.or.jp
URL http://www.komi.or.jp

第9回東京女子医科大学 看護学会学術集会

日時●10月5日(土)
会場●東京女子医科大学 弥生記念講堂
テーマ●看護と言葉——リベラルアーツの視点から
プログラム●会長講演「看護と言葉」田中美恵子(東京女子医科大学看護学部教授)／教育講演「看護における言葉と身体——人と人の中から立ち上がる現象」阿保順子(長野県看護大学学長)／一般演題／サテライトセミナー「看護師の医療事故克服とリベラルアーツ」奥津康祐(東京女子医科大学)／ミニ教育セミナー1「看護研究におけるグラウンデッドセオリー・アプローチ」青木雅子(東京

女子医科大学), 落合亮太(東京女子医科大学)／ミニ教育セミナー2「看護研究におけるナラティブアプローチ」田中美恵子(東京女子医科大学看護学部教授)／シンポジウム「看護教育にリベラルアーツはどのように貢献する可能性を持っているか?」足立智孝(亀田医療大学), 丹木博一(上智大学短期大学部), 木村みどり(東京女子医科大学), 味木由佳(東京女子医科大学)
参加費●
〈～8/30〉会員 3000 円, 非会員 4000 円, 大学院・認定看護師教育センター学生 2000 円, 看護学生 1000 円
〈当日〉会員 4000 円, 非会員 5000 円, 大学院・認定看護師教育センター学生 3000 円, 看護学生 1000 円
■演題募集
応募締切●6月28日(金)必着
※詳細はホームページ参照
問い合わせ●事務局
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学看護学部
FAX 03-3341-8832
E-mail nrc-09.bk@twmu.ac.jp
URL http://www.nrctwmu.jp/

認知症の人と家族への援助を すすめる 第29回全国研究集会

日時●10月13日(日)
会場●米子コンベンションセンター(ビッグシップ)多目的ホール・情報プラザ(米子市)
テーマ●認知症の医療, 介護, 地域の連携を考える——本人も家族も安心して暮らせるために
プログラム●講演「認知症とともに生きる時代を迎えて——認知症の行動科学」佐藤真一(大阪大学大学院)／「事例発表」／シンポジウム「認知症にやさしい介護保険制度へ」
■演題募集
発表内容●上記目的・テーマを踏まえた実践, 体験
発表者●立場・職種不問。
発表形式●口述(15分程度)・ポスター発表
応募方法●表題, 趣旨(1000字程度), 口述・ポスターの別, 氏名, 職業, 住所, 電話を明記し, 郵送またはEメールにて。
応募締切●7月1日(月)
問い合わせ●認知症の人と家族の会
〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下る

京都社会福祉会館 2F
TEL 075-811-8195
FAX 075-811-8188
E-mail office@alzheim.or.jp
URL http://www.alzheimer.or.jp/?page_id=159

産科病棟管理者交流集会

日時●8月3日(土)
会場●JNA ホール(渋谷区)
プログラム●「助産師の労働環境と人員配置を考える——診療報酬要件の理解と活用」奥村元子(日本看護協会)／「助産師の適正配置のあり方について——実態調査の結果をふまえて」福井トシ子(同)／グループワーク「助産師の適正配置の考え方について」
対象者●看護管理者
定員●100名(先着順)
参加費●無料
申込締切●7月3日(水)
申込方法●ホームページより
問い合わせ●公益社団法人日本看護協会事業開発部助産担当
TEL 03-5778-8548
E-mail midwife-jna@nurse.or.jp
URL http://www.nurse.or.jp

地域社会振興財団研修会

■第6回看護専門研修会
日時●9月5日(木)・6日(金)
テーマ●蘇生現場におけるチーム医療と看護師の未来——ICLSコースを受講して考える
プログラム●「ガイドライン2010の新しい心臓蘇生法と救急看護」「チーム医療の考え方と看護職の役割」「蘇生現場でのチーム医療における看護師の未来(ワールド・カフェ)」「専任の医師やインストラクターによるICLSの実技実習」「蘇生現場における他職種コラボレーションのあり方と看護師の役割」
対象者●ICLSに関心のある看護職
受講料●1万8000円
申込締切●8月16日(金)
■第11回口腔ケア研修会
日時●9月18日(水)～9月20日(金)
テーマ●口腔ケアの普及を目指して, 口腔ケア効果の科学的根拠を求めてチームアプローチの重要性
プログラム●「口腔の基礎知識, 口腔疾患の基礎知識」「口腔ケアの基礎知識」「周術期口腔機能管理における, 口腔ケア有効性の科学

の根拠を考える(心臓血管外科周術期の感染予防・誤嚥性肺炎予防効果における有効性・造血幹細胞移植周術期における有効性)」「各職種間の連携に関する臨床的意義」「口腔ケアの実際(実習)」

対象者●医師、歯科医師、歯科衛生士、看護師、介護福祉士、管理栄養士、言語聴覚士など

受講料●2万5000円

申込締切●8月30日(金)

■第37回スタッフ育成・管理担当者研修会

日時●10月11日(金)・12日(土)

テーマ●スタッフ育成のためのコーチングとティーチング

プログラム●「スタッフ育成のためのコーチング」「スタッフ育成のためのティーチング」
対象者●看護単位の責任者とその任にあたる者、および看護単位でスタッフ育成の任にあたる者／関連職種の単位の責任者とその任にあたる者、および関連職種の単位でスタッフ育成の任にあたる者

受講料●1万8000円

申込締切●9月20日(金)

■第2回がん化学療法看護研修会

日時●11月15日(金)・16日(土)

テーマ●がん化学療法を受ける患者のQOL向上のために

プログラム●「がん化学療法の基礎知識」「がん化学療法のレジメンのアセスメント」「抗がん剤の安全な投与管理」「がん化学療法を受ける患者の意思決定支援」「がん化学

療法を受ける患者のセルフケア支援」「がん化学療法を受ける患者の副作用症状のマネジメント」

対象者●がん化学療法看護に関心がある看護師等

受講料●1万8000円

申込締切●10月25日(金)

〈以下共通〉

会場●自治医科大学地域医療情報研修センター(栃木県下野市・自治医科大学構内)

申込方法●専用の受講申込書(ホームページよりダウンロード可)を郵送

問い合わせ●地域社会振興財団事務局研修課

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-160

TEL 0285-58-7436

FAX 0285-44-7839

E-mail fdc@jichi.ac.jp

URL <http://zcscsz.or.jp/>

第38回日本リハビリテーション工学協会 車いす SIG 講習会 in 盛岡

日時●8月20日(火)・21日(水)

会場●いわて県民情報交流センター(アイーナ)(岩手県盛岡市)

プログラム(コース選択制)

A「高齢者・片麻痺者の車椅子——標準型車椅子の工夫と限界」

B「高齢者・片麻痺者の車椅子——車椅子の調整機能活用術」

C「アクティブユーザーから学ぶ車椅子——活動を広げる車椅子の調整、調節、操作テクニック」

定員●各コース40名

参加費●加盟団体等により異なる

詳細●6月中旬ホームページに掲載

問い合わせ●事務局(深野栄子)

〒235-0033 横浜市磯子区杉田2-7-20

TEL 045-352-8165

FAX 045-352-8166

URL <http://www.wheelchair-sig.jp/>

全国看護管理・教育・地域ケアシステム学会第7回学術大会 中止のお知らせ

8月19・20日にシンガポールのマンダリン・オーチャードシンガポールホテルにおいて、全国看護管理・教育・地域ケアシステム学会第7回学術大会「文化に根ざしたこれからの国際看護——日本文化とケアリング」の開催を予定しておりましたが、諸般の事情により開催中止となりました。参加を予定されておりました皆さまには、お詫び申し上げます。詳細につきましてはホームページをご覧ください。

問い合わせ●学術集会事務局(福山平成大学看護学部内)

TEL 084-972-5011(内2745)

E-mail jimeccc@heisei-u.ac.jp

URL <http://www.heisei-u.ac.jp/ns/taikai.pdf>